授業科目名	応用スポーツ心理学		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (応用科目)		
担当教員名	未 定				補助担当者名			
単位数	2 単位	履修年次	3年次		受け入れ人数	-		
授業の概要	本講では、運動・スポーツに関する心理的知識を学び、将来、体育・スポーツのリーダーとなり、生かすことができるスキルを養うことを目的とする。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、専門的な知識・教養 (指導者基礎力、専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	認知的領域	スポーツ心理学の基礎知識を理解している。スポーツ心理学の知識を用い、体育・スポーツにおける問題や課題への解決策を提案できる。						90
	情意的領域	スポーツ心理学の知識を競技実践場面や指導現場を想定しながら主体的に学ぶことができる。						10
技能的領域								
成績評価の基準	認知的領域と情意的領域の合計が60点以上を合格の条件とする。 出席回数が2/3未満の者は放棄扱いとして評価しない。							
テキスト、教材 参 考 書	テキストは使用せず、講義資料を基に授業を進める。							
履修条件・ 関連科目	スポーツ心理学、スポーツカウンセリング論、体育学実験	備考(教員メッセージ含む)						
オフィス・アワー	オフィス・アワーはありません。質問・要望のある者は講義前、講義後に直接申し出てください。講義中に配布する小レポート用紙に記入していただいてもかまいません。その他必要に応じて対応します。							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	未 定	オリエンテーション						
2	"	競技力向上のための心理的競技能力						
3	"	競技意欲(動機付け)						
4	"	目標設定						
5	"	緊張感、集中力(注意)、自信						
6	"	作戦能力(予測力・判断力)						
7	"	協調性(集団、リーダーシップ、ソーシャルサポート)						
8	"	協調性(集団、リーダーシップ、ソーシャルサポート)						
9	"	選手の心理的問題(スポーツ傷害、バーンアウト等)						
10	"	健康スポーツ(運動・スポーツの心理的効果)						
11	"	健康スポーツ(運動の継続法)						
12	"	健康スポーツ(介入指導)						
13	"	スポーツを「見る」側からの心理的研究						
14	"	スポーツを「支える」側からの心理的研究						
15	"	まとめ						